



検査センター職員を順次紹介していくコーナーです。私たちは「顔の見える検査センター」を目指しています。先生方のご意見・ご感想をぜひお聞かせ下さい。

♡ 127人目



みはら ちほ
三原 千穂
検査科細菌所属
勤続 1.5 年

薩摩おごじょ

薩摩隼人に薩摩おごじょ。前者は勇敢な薩摩の武士で知られていますが、後者は「篤姫」で使われたフレーズです。もともと小さな子供を指す鹿児島のだんご語「御子」が「おごじょ」に変わり、現在では比較的若い女性を指す慣用語になったと記されています。

薩摩おごじょは情に深く尽くすとされ、芯の強さを褒める意味も含んでいるようです。私も薩摩の大隈半島出身、篤姫のように強く生きたいと思っています。

さて、学生時代より細菌検査に携われる仕事に就きたいという思いから、迷わず検査センターを志望しました。検体検査部門が複数ある中で、希望していた細菌室に配属が決まり嬉しく思っています。

熟練された先輩方がコロニーの感じや微妙な色の違いで、いち早く菌を推測し培地に植えていく…。そんな先輩方の姿勢が私の仕事で目指している「おごじょ」です。

♣ 128人目



せいの まさし
清野 雅資
業務システム課所属
勤続 26 年

一つのミスが命取り

業務システム課で顧客サービスを担当しています。

主に、当検査センターをご利用いただいている先生方のパソコン関連全般（データ通信やメンテナンスを含む）のサポートをさせていただいています。



機械が相手なので、一つでもミスがあったり、作業のし残しがあったりすると必ずエラーが出て正常に作動しません。また、検査報告書の数字が一桁違って出てきても重大な医療過誤に結びつきます。できるだけ限られた時間内に完璧に作業を終えられるよう努力しています。

DDLlight や助っ人を使っていただいている先生方で、パソコン周辺でお困りのことやご不明な点などございましたら、遠慮なくお気軽に声をかけてください。